

本書の使い方

愛知県は、東京について2番目に外国人が多い県です。(2021(令和3)年6月末現在)

本書では、愛知県内の社会福祉関係機関や市区町村の窓口、当協会を含む外国人相談窓口等に寄せられた社会福祉に関する相談をもとに、愛知県に住む外国人の問題や考えられる背景、適切な相談対応を行う上で重要となるポイントをまとめています。

社会福祉に関する相談は、出生から亡くなるまでの人の一生の中の様々な場面に関係するもので、内容も多岐にわたります。さらに、外国人の場合は、在留資格、言葉の違い、国による制度の違いなども関係し、問題が複雑に絡み合っていることが多くあります。しかし、抱えている状況や想いは一人ひとり違うため、対応の仕方も一つではありません。本書に掲載していることがすべてではありませんし、絶対的な答えでもありません。日本人にとって「あたりまえ」のことやすぐに理解できることが、実はあたりまえでなかったり、わかりにくかったりするなど、気づききっかけとして、相談員の方々に活用していただければ幸いです。

第1章 社会福祉と外国人相談に関する基礎知識

社会福祉の仕組みの基礎的な情報、また、外国人とはだれを指すのか、在留資格とは何か、在留資格と様々な制度との関係、外国人の対応をするときにどんなことに気を付ければよいかなど、基礎的な情報をまとめました。外国人の対応をするときに不可欠なことばかりですので、活用してください。

第2章 相談対応で知っておきたい制度とポイント

○ 本章では、ライフサイクルに合わせ、以下の3つのテーマに分けています。



生まれる・育てる



生活する



病気・医療

○ それぞれのテーマに関する主な法律や制度を掲載していますが、それがすべてではありません。本書では、外国人に特に関わりのある制度を紹介しています。

各テーマの構成は次のとおりです。

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 概要 | 4. 外国人対応のポイント |
| 2. 主な相談窓口 | 5. 相談事例 |
| 3. 関連する制度・サービス等 | |

1～3では、テーマに関係のある法律や制度についての基本的な情報をまとめています。

また、2の「主な相談窓口」の表の一番右の欄は、その内容に対応した3の「関連する制度・サービス等」や、参考となる事例のページを記載しています。

なお、実際にはケースによってさらに細かい要素が加わってくる場合がありますし、制度やサービスは変わることがあります。その都度、必ず専門機関に確認するようにしましょう。

4の「外国人対応のポイント」では、「当然わかるだろう」と思うことが相手にはわからなかったり、「当然こうだろう」と思うことが実は違っていたり、という誤解や思い込みを避けるために、各専門機関や窓口の担当者が対応の際に配慮したり、確認したほうがよいこと、伝えたほうがよい情報などをまとめています。

5では、1～4で取り上げた事柄をより深く理解するため、具体的な相談事例を挙げて解説します。

事例の相談はわかりやすくするため、かなりシンプルにしていますが、いろいろな可能性が考えられますので、決め付けたり思い込んだりせず、相談者とじっくりコミュニケーションをとるようにしましょう。

第3章 関係機関一覧

専門相談窓口や多言語による相談窓口をはじめとする関係機関の情報などをまとめました。問い合わせの際に活用してください。

第4章 社会福祉と外国人に関する資料

外国人の社会福祉についてさらに詳しく情報を得たいときに役立つデータや資料などをまとめました。制度・サービスについての最新データなどを調べる際に参考にしてください。